

会報

◇奈良大学史学会総会

六月五日（月）、本学において、第二十四回奈良大学史学会総会を行った。

二〇〇五年度の決算・会計監査報告及び事業報告が行われ、ついで二〇〇六年度の役員人事案・事業計画案とそれに伴う予算案が提案され、それぞれ原案どおり承認された。

二〇〇六年度の役員は以下の通り。

▽会長

丸山 幸彦

▽副会長

酒井 一

▽教員委員

(編集)

河内 将芳

(会計)

足立 広明

(庶務・交換)

森田 憲司

(監査)

鎌田 道隆

青木 芳夫

▽学生委員

(代表)

田中孝太郎

(副代表・青垣祭企画実行局長)

日比野希由

(総務・広報局長)

船石 佳彦

(四回生委員) 會田 朋子 東 裕希 石野 裕也

大倉 俊美 川崎 恵美 鈴木 裕美 田中 美穂

谷村 智哉 西谷 春佳 福本 真衣 間島多佳子

宮崎 琢也

(三回生委員) 田中孝太郎 中村 裕明 日比野希由

船石 佳彦 増田 真吾

(二回生委員) 岡部 愛 静屋沙代子 中澤由香里

福井 涼子 森田 隆寛

(一回生委員) 伊藤 正尋 伊藤 美怜 大山 侑一

加藤 啓佑 志磨村太一 下元 美輝 手嶋 幸子

野崎 千裕 吉川 神奈

◇特別講義

六月五日（月）、史学会総会に引き続き、特別講義が行われた。講師・演題は以下の通り。

浅香 正氏 (同志社大学名誉教授)

「古代ローマ都市ポンペイの埋没と火山災害」

七月三日(月) 特別講義が行われた。講師・演題は以下の通り。

三井田康記氏(畿央大学健康科学部教授)

「奈良町の町おこしと伝統―地域特性(歴史・風土)を活かしたまちづくりのすすめ―」

◇青垣祭

毎年恒例となった青垣祭(学園祭)での展示発表は、本年度「台所のあしあと」というテーマで行った。

会場では、日本の台所の変化と世界の特徴ある台所道具を、模型や年表、パネルで解説した。

また、現代の日本の台所を再現したコーナーでは、台所道具の模型を来場者が手で触れられるようにするなど、展示方法に工夫を見せ、多くの方々に好評いただいた。

十一月三日(金)から十一月五日(日)の三日間で延べ四〇〇人の来場者が訪れた。

ご協力いただいた方々には深くお礼を申し上げます。

◇体験ツアー

今年の体験ツアーは、十一月二十三日(木)に、二回生を中心に企画された「秋色に染まる南禅寺」を実施した。学生委員を含め十五名が参加し、紅葉の名所・南禅寺周辺を、委員の解説を交えて散策した。

◇「史学会会報」等の発行

奈良大学史学会の活動の普及を目的として、「史学会会報」を五月、六月、十月、十二月に発行し、史学会の企画案内や季節の話題等を掲載した。

また、本年度も一回生を対象に、来年度以降の講読・ゼミを決定する上での参考資料として、各ゼミに所属する学生の執筆による「講読紹介」を十二月に発行した。

平成十七年度史学科卒業論文題目

【日本史】

日本古代の医療について

秋成 康志

女帝と讓位

山梨 陽子

—大宰府管内の国医師について—

—讓位の史的意義から見る女帝論—

吉原 啓

古代烽の研究

芦田 裕

大化以降の「国造」について

仲達 慎

日本古代乳母についての一考察

岩見真理子

天智朝の太政官について

西川 彰一

律令国家の贈位・贈官

大嶋 有紀

大化改新期の武器収公政策の一考察

米澤 潤一

古代における正倉の管理について

岸本 直樹

俘囚についての考察

☆ ☆ ☆
天野 晶子

—不動倉の構造と鑑・鉤匙の管理—

白井巴古都

武士の誕生と武家政治への台頭

—伊勢平氏の祖維衡から清盛の時代—
稲吉もと美

古代における神仏習合について

千田 法子

法華経の受容について

大山富久弥

奈良時代以前の太政大臣について

鷹野 義朗

島津氏と坊津

沖村 将彦

古代牧制度の一考察

—内廐寮と内廐寮所管牧—

武士の魂

尾関 夕加

—装潢を中心に—

田邊 弓佳

中世日本のキリスト教について

開発麻実子

—装潢を中心に—

田邊 弓佳

中世の差別と救済

加藤統紀子

桓武期における「国忌」についての一考察

利行 榎美

戦国・安土桃山時代の覇者と讃岐の支配者

神庭 康彰

日本古代の恩赦について考える

中津 維央

中世の環境について

冠 政次

—『内裏儀式』成立時期との関係—

長岡 和哉

中世における堺とヴェネツィアとの比較

冠 政次

—『内裏儀式』成立時期との関係—

長岡 和哉

中世における堺とヴェネツィアとの比較

冠 政次

—『内裏儀式』成立時期との関係—

長岡 和哉

中世における堺とヴェネツィアとの比較

冠 政次

佐渡の本間氏について

澤根 信也

戦国社会と家

島田 恵太

―地頭支配の変化を中心に―

中世社会における四国八十八ヶ寺霊場と土地支配者の関係

塩田 篤司

―毛利氏の家督相続・毛利元就を中心に―

龍本 大

―について―讃岐国善通寺の場合―

下川渡 稔

中国地方における戦国社会

寺井 諒太

源平争乱期における尾・三源氏

鈴木 唯嗣

―毛利元就と家臣団について―

山沖 暁

佐々成政と彼が生きた中世の越中について

―伝説・逸話からみる佐々成政の実像と民衆の思い―

中世土佐国の職能民

―戦国期の職能民の生活について―

平安時代における天皇の母親

―国母とは何か―

小早川秀秋について

―慶長の役における動向と豊臣政権の影響―

―一年中行事にみる厳島神社と人々の関わり―

土井内幸太

戦国大名尼子氏に関する考察

田中 拓史

奥州藤原氏の都市構想

―安倍・清原氏の支配形態を通じた独自性―

分国法による領国支配

―『今川仮名目録』『今川仮名目録追加』と守護不入権―

戦国下の越後の経済力について

峰松 大地

近世中期以降の庶民の服装の多様化と意義

安藤あゆみ

戦国期の地域権力、雑賀惣国について

宮本 裕之

近世後期久保村における実態とその特質

池田 新平

―中世後期の日前宮―

井上 将

近世初頭における秋田藩の院内銀山支配と住民生活

伊藤 暢行

庭園や建築物に見る中世の文化

西之谷 相

中世瀬戸内海の水軍について

☆ ☆ ☆

朝倉氏と宗教勢力について

柴田 雅之

☆ ☆ ☆

☆ ☆ ☆

☆ ☆ ☆

☆ ☆ ☆

子どもをとおしてみる江戸中・後の庶民社会

大越美由紀

奈良暦を通して読み解く近世奈良の人々の習俗

大谷 晃裕

宇土藩境争論から見る江戸時代初期の藩領争論の歴史
的意義

岡林 悠太

安藤昌益の思想から考察する近世社会構造

川村麻里緒

幕末の黒船観と異文化認識

神高 舞子

―庶民が見た黒船来航―

久保 道紀

津山領山中百姓一揆の展開とその歴史的意義

佐藤 健一

近世城郭と城下における政庁的空間の形成について

下平 拓哉

―彦根城下町における政庁の形成―

鈴木 美穂

上書からみる天明―寛政期の政治と社会

田村 勇也

―その歴史的意義―

東條 友彦

塵芥・屎尿をとおしてみる近世都市京都と京郊農村との
関わりとその構造

中川 杏子

近世前期における山鹿素行の思想形成

能勢 晋丞

長良川流域における近世鶴匠の活動とその役割

不破 巨樹

近世中期の京都・祇園の開発と遊所地化

蓬菜 敏彦

近世前期における仁政をめざした藤樹と蕃山の試み

松田 健治

近世後期以降の売薬業の展開と高取の都市形成

道上 有紀

農書から見る江戸中期・後期における庶民教育の展開

宮本真理子

近世後期における赤穂藩と塩専売制度について

山里 慎一

近世における飛脚の公用から商用への変化と盛衰

山野 恭彦

嘉永・安政期の阿部正弘の政治意思と幕府の政治

吉光 聡史

江戸初期における「かぶき者」の実態と役割

藤間 浩史

明治維新政権に於ける赤報隊の意義

東條 友彦

社会

田村 勇也

☆ ☆ ☆

河鍋暁斎と文明開化

天野 裕貴

近代香川県における塩業の展開
明治・大正期の廃娼運動
― 奈良県を事例として ―

林 俊介
堀 仁美

戦争と動物

石原 靖士

天皇制と民衆

松井 直弘

― 天王寺動物園動物処分研究 ―

― 北一輝の思想的展開 ―

朝鮮人強制連行とヒロシマ

石谷林太郎

鳥取県における学校教育の普及
地租改正と地域社会

丸山 聖
丸山 大輔

神社祭祀と住民

植野 裕正

― 奈良県における地租改正 ―

森 昌彦

― 現大阪府岸和田市域における考察 ―

八日市飛行場小史

森 昌彦

近代日本における伝統文化の受容

大西 瞳

― その設置と地域社会 ―

森 昌彦

― 佐竹本三十六歌仙絵巻の流転から ―

河嶋 俊

明治期島根県の畜産業

森本 翔太

戦時体制下の報道と世論

小池 英仁

― 大原郡の畜牛業を例に ―

山本 智恵

満戦後学生運動の展開

坂下ゆかり

明治国家と民衆の生活習慣

鈴木 禎匡

― 全学連結成における組織問題について ―

― 改暦による変化・山口県の場合 ―

鈴木 禎匡

移住民の中の女性

須瀆 謙一

奈良公園の歴史

畑中 輝

― 開拓が生んだ北海道の女性像 ―

竹内 淳

― 興立舎からみた奈良公園の成立 ―

畑中 輝

アジア太平洋戦争時の報道と民衆

田中 博文

十五年戦争下における新聞記者と言論統制

☆ ☆ ☆

戦後における長野県農業史

中尾 智

日向における県治と民衆

☆ ☆ ☆

第二次兵庫県の成立

中尾 智

― 但馬地方を中心として ―

☆ ☆ ☆

― 但馬地方を中心として ―

【東洋史】

現代インドネシアにおける開発と日本 飯田 知子

―スハルトの経済開発と日本の援助を中心に―

土木の変とその背景 伊島 裕子

日中戦争期における紅槍会 犬飼 理絵

ホー・チ・ミンの活動とそのイデオロギー 大宮 啓史

明代倭寇と地域社会 岡田 大志

―中国沿海地方を中心に―

元雜劇の作者について 表 倫大

久米三十六姓について 神村明日香

宦官劉瑾と武宗について 坂井 綾子

崔浩誅殺事件について 關 玲子

唐代における辟召 出来 衣里

―辟召制の役割―

アメリカ同時多発テロ以降のイスラーム中道派 東 真理子

―イラク民主化の鍵―

宋代の東嶽廟 森田 清美

考古学資料よりみた遼代の社会と文化 山根 弓果

唐宋、五代、宋の商工都市 川井 俊治

☆ ☆ ☆

五斗米道の組織構造について 今西 昭仁

―後漢末五斗米道政権の構造はいかなるものであつたか―

秦漢時代の情報伝達についての一考察 金森 貴史

―郵書通信について―

後漢時代の宦官 城戸 拓也

―主に黄巾党とのつながりについて―

呂氏政権崩壊の原因について 小林 弘樹

古代中国造船史からみる海上文化交流 丹所 宏介

三国魏に於ける王権の伸張について 平野 義爵

―名士についての一考察―

司馬遷の生涯 求 泰水

―「史記」の編纂過程―

☆ ☆ ☆

【西洋史】

シュメールにおける宗教と女性について 大中香菜子

古代エジプト・ヒクソスとその文化について

古典期アテナイの女性 大野 浩平

―婚姻制度を中心に― 岡本 麻里

古代ギリシアの祭礼とパンアテナイア祭 奥田 実

―パルテノン・フリースの再考を踏まえて―

古典期アテナイの国家祭式と国制運営思想 松野 靖大

―アセベアの表と裏―

古代ブリテン島におけるローマ化について 親泊亜希子

アイデンティティと他者 三浦由紀子

古代エジプト人の来世観 陰山 佳世

―アテナイを中心に―

ラピス・ラズリから見る古代エジプトの世界

☆ ☆ ☆

―交易の意義と文化発展への貢献について― 工藤 緑

イングランド封建王制の成立過程について 岩井 晶

古代エジプトにおける人々の生活と死について 黒瀬 佑希

イタリア・ルネサンス期の巨匠たち 岩月 寛奈

第二次ポエニ戦争におけるハンニバルの政策について

―フリードリヒ一世の統治時代を中心に―

―ハンニバルの民主制― 後藤 徹

西欧中世の盛期における都市の形成について 小路 実穂

古代ローマの子どもたちと嬰兒遺棄 高橋 直嗣

大航海時代の歴史的展開 坂本 純代

古代ローマにおける家族と社会 橘木 亮太

―スペインを中心に―

古典期ギリシアにおける海上貿易 玉置 裕宣

モン・サン・ミシエル修道院の歴史的展開について

―コリントスを中心に―

フランス革命の展開について

古代エジプトにおける女性の生活について 富田 直美

―その初期段階を中心に― 澁谷 朋美

ピラミッド建設について 浪口 優

副島 梨香

―ピラミッド時代の思想・文化―

古代シュメールの神殿祭儀と音楽 東 あゆみ

イタリア・ルネサンス芸術の変遷について 高橋 京子

古アッシリアと古バビロニアとの交易について

十字軍の思想に関する考察 田中 慶彦

前川 悟

ヴァイキング活動についての考察 谷野 浩之

テューダー朝絶対王政の歴史的發展について

— エリザベス一世の治世を中心にして — 永田 恵

ヨーロッパ中世社会のキリスト教美術について

— 「最後の審判」を中心にして — 大鼻 梨予

☆ ☆ ☆

ゴッホ論

— 愛と死についての一考察 — 安藤 博紀

ヨーロッパにおける都市と環境

— 森と歩んだドイツの環境 — 飯田 修平

古典期マヤ文明の崩壊について

イギリス産業革命と奴隸制 笹倉 健太

フランス革命と女性 島田恵理子

チャーチルに関する一考察 竹本 亜紀

— チャーチルは国民的英雄であったか? — 玉木 秀典

トウパック・アマルーの反乱について 中尾 友美

アンデスの土着宗教とキリスト教化 山下 直毅

マヤ文明の文字と暦について 東 幸志

平成十七年度文学研究科修士論文題目（史学関係）

防長無縫塔考 内田 大輔

中世城館の実像とその史的意義 下高 大輔

テンブル騎士団の軍事的有効性に関する考察

西出 喜紀

奈良博覧会の研究 野水 宏美

一乗院・大乘院間における衆徒・国民の調停機能

溝田 直己

戦国期の豊前国における在地領主について 山根 一史

江戸時代の東海道における旅と一里塚の史的研究

村田 道代

受贈雑誌及び図書

自二〇〇五年一月
至二〇〇六年一〇月

雑誌

愛知大学総合郷土研究所紀要 第五一号

愛知大学文学論叢(愛知大学文学会) 第一三三号

青山史学(青山学院大学文学部史学研究室) 第二四号

明石市文化財年報(明石市立文化博物館) 平成一七年度

アカデミア 人文・社会科学編(南山大学) 第八二、八三

号

アジア研究所紀要(亜細亜大学アジア研究所) 第三二二号

アジアフォーラム(大阪経済法科大学アジア研究所) 第

三〇号

アジア文化化学科年報(追手門学院大学文学部アジア文化

学科) 第八号

アジア文化史研究(東北学院大学大学院文学研究科アジア

文化史専攻) 第六号

AZUR(成城大学フランス語フランス文化研究会) 第

七号

いたみ(伊丹市立博物館) 第三五号

岩手史学研究(岩手大学岩手史学会) 第八八号

エウローペー(成城大学大学院文学研究科ヨーロッパ文化
専攻) 第一五号

鴨台史学(大正大学史学会) 第六号

鷹陵史学(鷹陵史学会) 第三二二号

大分県立歴史博物館研究紀要 第七号

お茶の水史学(お茶の水女子大学文教育学部人文科学科比

較歴史学コース内読史会) 第四九号

貝塚市文化財年報(貝塚市教育委員会) 第三、四号

海南史学(高知大学高知海南史学会) 第四四号

漢学研究通訊(漢学研究中心) 第二五卷第一―三期

紀尾井史学(上智大学大学院史学専攻院生会) 第二四、

二五号

京都女子大学大学院文学研究科研究紀要 史学編 第五号

京都橘大学研究紀要 第三二二号

京都歴史災害研究(立命館大学歴史都市防災研究センター、

京都歴史災害研究会) 第五号

キリスト教史学(キリスト教史学会) 第六〇号

熊本史学(熊本大学熊本史学会) 第八五、八六号

ぐんま史料研究(群馬県立文書館) 第二三三号

研究論集(河合文化教育研究所) 第一、二号

高円史学（奈良教育大学高円史学会） 第二二号

神戸大学史学年報（神戸大学史学研究会） 第二二号

国士館史学（国士館大学史学会） 第一一号

国史研究（弘前大学国史研究会） 第二二〇号

国史談話会雑誌（東北大学国史談話会） 第四六号

古代史年報（属州研究会） 第四号

史苑（立教大学史学会） 第十六卷第二号

史園（園田学園女子大学歴史民俗学会） 第六号

史筵（北大史学会） 第三号

史学（三田史学会） 第七四卷第三・四号、第七五卷 第一号

号

史学研究集録（国学院大学大学院日本史学専攻大学院会）

第三一号

史観（早稲田大学史学会） 第一五四、一五五号

史聚（史聚会） 第三八号

史泉（関西大学史学・地理学会） 第二〇三、一〇四号

史艸（日本女子大学史学研究会） 第四六号

史窗（京都女子大学史学会） 第六三三号

史叢（日本大学文理学部内日本大学史学会） 第七一、

七三号

四天王寺国際仏教大学紀要 第四〇、四一号

社会科学研究（中京大学社会科学研究所） 第二六卷一、二

号

史友（青山学院大学史学会） 第三八号

秋大史学（秋田大学史学会） 第五二号

上智史学（上智大学史学会） 第五〇号

資料館紀要（京都府立総合資料館） 第三四号

神女大史学（神戸女子大学史学会） 第二二号

信大史学（信大史学会） 第三〇号

人文学報 歴史学編（東京都立大学人文学部）

第三三、三四号

人文論集（静岡大学人文学部） 第五六卷二号、第五七卷

一号

スペイン史研究（スペイン史学会） 第一九号

住友史料館報（住友史料館） 第三七号

西洋史学報（広島西洋史学研究会） 第三三三号

西洋史論集（北海道大学大学院文学研究科西洋史研究室）

第九号

西洋史論叢（早稲田大学西洋史研究会） 第二七号

専修史学（専修大学歴史学会） 第三九、四〇号

創価大学人文論集（創価大学人文学会） 第一八号

総合研究（地域から考える国際関係）（津田塾大学国際研

究所） 第四号

双文（群馬県立文書館） 第二三号

多賀城跡（宮城県多賀城跡調査研究所年報）（宮城県多賀

城跡調査研究所） 二〇〇五

橘史学（京都橘大学歴史文化学会） 第二〇号

近松研究所紀要（園田学園女子大学近松研究所） 第一六

号

千葉史学（千葉歴史学会） 第四七、四八号

中央史学（中央史学会） 第二九号

中国水利史研究（中国水利史研究会） 第三三号

津田塾大学国際関係研究所報（津田塾大学国際関係研究所

報編集委員会） 第四〇号

敦賀論叢（敦賀短期大学） 第二〇号

帝京国際文化（帝京大学文学部国際文化学科） 第一九号

帝京史学（帝京大学文学部史学科） 第二一号

帝塚山大学考古学研究所研究報告 第六、七号

帝塚山大学大学院人文科学研究所紀要 第七号、八号

東海史学（東海大学史学会） 第四〇号

東京大学日本史学研究室紀要（東京大学大学院人文社

会系研究科、文学部日本史学研究室） 第一〇号

東北文化研究所紀要（東北学院大学東北文化研究所） 第

三七号

東洋史苑（龍谷大学東洋史学研究会） 第六六号

東洋史訪（兵庫教育大学東洋史研究会） 第二二号

東洋大学文学部紀要 史学科篇 第五九集第三二号

東洋文化研究（学習院大学東洋文化研究所） 第七、八号

徳川林政史研究所研究紀要 第四〇号

富山県「立山博物館」研究紀要 第一三三号

七隈史学（七隈史学会） 第七号

奈良学研究（帝塚山大学奈良学学会） 第八号

寧楽史苑（奈良女子大学史学会） 第五一号

奈良歴史研究（奈良歴史研究会） 第六五、六六号

新潟史学（新潟史学会） 第五四、五五号

二松（二松学舎大学大学院文学研究科） 第一九、二〇号

二松学舎大学東アジア学術総合研究所集刊 第三五、三六

号

二松学舎大学論集（二松学舎大学文学部） 第四八、四九号

日本学研究（金沢工業大学日本学研究所） 第八号

日本研究―国際日本文化研究センター紀要（国際日本文化

研究センター） 第三二、三二二号

日本思想史研究（東北大学大学院文学研究科日本思想史学

研究室） 第三七、三八号

日本常民文化紀要（成城大学大学院文学研究科） 第二五

号

日本文化史研究（帝塚山大学日本文化史学会） 第三七号

日本モンゴル学会紀要（日本モンゴル学会） 第三六号

年報人類文化研究のための非文字資料の体系化（神奈川大

学二一世紀COEプログラム「人類文化研究のための非

文字資料の体系化」研究推進会議） 第三号

年報中世史研究（中世史研究会） 第三一号

年報日本史叢（筑波大学大学院人文社会科学研究所歴史・

人類学専攻） 二〇〇五年

幕末佐賀科学技術史研究（幕末佐賀科学技術史研究会）

第一、二号

パブリック・ヒストリー（大阪大学西洋史研究室） 第三

号

東アジア研究（大阪経済法科大学アジア研究所） 第四三

―四五号

東アジア石刻研究（明治大学東アジア石刻文物研究所）

第一号

東アジアと日本―交流と変容―（九州大学大学院比較社会

文化研究院） 第三号

広島東洋史学報（広島東洋史学研究会） 第一〇号

兵庫のしおり（兵庫県県政資料館） 第八号

福岡教育大学紀要 第二分冊 社会科学編 第五五号

仏教大学総合研究所紀要 第一三号

フランス革命と日本・アジアの近代化（専修大学大学院社

会知性開発研究センター） 第三号

文化情報学科研究報告（甲子園短期大学文化情報学科）

第一号

文学部論集（仏教大学文学部） 第九〇号

文学論叢（愛知大学文学会） 第一三三号

法政史学（法政大学史学会） 第六四、六五号

法政史論（法政大学大学院日本史学会） 第三二二号

北大史学（北京大学出版社） 第一一号

北大史学（北大史学会） 第四五号

北陸史学（北陸史学会） 第五五号

御影史学論集（御影史学研究会）

三井文庫論叢(三井文庫) 第三九号

民具マンスリー(神奈川大学日本常民文化研究所) 第

三八卷七一、二号、第三九卷一、七号

明代史研究(明代史研究会) 第三三三号

メトロポリタン史学(メトロポリタン史学会) 第一号

山口県史研究(山口県県史編さん室) 第一四号

横浜商大論集(横浜商科大学学術研究会) 第三九卷 第

一、二号

米沢史学(山形県立米沢女子短期大学日本史学科米沢史学

会) 第二二号

ヨーロッパ文化史研究(東北学院大学大学院文学研究科

ヨーロッパ文化史専攻) 第七号

洛北史学(洛北史学会) 第八号

立教日本史論集(立教大学日本史研究会) 第一〇号

立正史学(立正大学史学会) 第九八、九九号

龍谷史壇(龍谷大学史学会) 第二二四号

歴史(東北史学会) 第一〇五、一〇六号

歴史遺産研究(東北芸術工科大学歴史遺産学科) 第三号

歴史人類(筑波大学大学院人文社会科学研究所歴史・人類

学専攻) 第三四号

歴史と地理(山川出版社) 第五八八―五九八号

和菓子(虎屋文庫) 第二三三号

Interaction and Transformations(Graduate School of Social
and Cultural Studies, Kyushu University) Vol.3

図書

あづまのやまのみち―那須の防人、広成が通った道―

(平成十八年第十四回企画展栃木県立なす風土記の丘

資料館展示図録第十五冊)(栃木県立なす風土記の丘資

料館)

絵図に見る貝塚寺内のうつりかわり(平成一七年度貝塚市

郷土資料展示室企画展一図録)(貝塚市教育委員会)

奥会津地方の職人巻物―書承と口承の交錯―(神奈川大学

日本常民文化研究所調査報告第二〇号)(神奈川大学日

本常民文化研究所)

貝塚市古文書目録二(貝塚市教育委員会 貝塚市文化財調

査報告第三集)

貝塚市古文書目録三(貝塚市教育委員会 貝塚市文化財調

査報告第五集)

貝塚市内の神社と絵馬(平成一七年度貝塚市郷土資料展示

室企画展三図録（貝塚市教育委員会）

木戸窯跡群Ⅱ（多賀城関連遺跡発掘調査報告書第三一冊）

（宮城県多賀城跡調査研究所）

近世東海地域の農耕技術（愛知大学総合研究所研究叢書

一九）

群馬県行政文書件名目録 第一七集 明治期令達編（群馬

県立文書館）

群馬県立文書館収蔵文書目録 第二四集「桐生・太田・み

どり地区諸家文書目録」（群馬県立文書館）

高安窯跡群 B地区第三次発掘調査報告書（東北芸術工科

大学考古学研究報告） 第四号

国際日本学の構築に向けて（二二世紀COE国際日本学研

究叢書二）（法政大学国際日本学研究センター）

式目類目録（三井文庫所蔵史料第一二集）（三井文庫）

地藏堂丸山古墳と大阪の前期古墳（貝塚市教育委員会平成

一六年度貝塚市郷土資料展示室特別図録）

図像から読み解く東アジアの生活文化（神奈川大学二世

紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料

の体系化」研究推進会議）

図像研究文献目録（神奈川大学二二世紀COEプログラム

調査研究資料三）（神奈川大学二二世紀COEプログラ
ム研究推進会議）

タイムスリップ！いずみの国の弥生時代（平成一七年度貝

塚市郷土資料展示室企画展二図録）（貝塚市教育委員会）

第二回リレーシンポジウム（佐賀）報告書―近代を開いた

江戸のモノづくり―（特定領域研究「江戸のモノづくり」

佐賀班）

地域連携サミット・リレーシンポジウム報告書（特定領域

研究「江戸のモノづくり」佐賀班）

社会科学研究所（中京大学社会科学研究所） 二六号

内陸圏・海域网交流ネットワークとイスラム（九州大学

二二世紀COEプログラム（人文科学）「東アジアと日本・

交流と変容」

直良信夫と明石―発掘された明石の歴史展―（明石市立文

化博物館）

「奈良学」あるいは「大和学」についての序説（帝塚山大

学奈良学総合文化研究所）

日中の文化関係を考える―日中相互認識の「ずれ」を中心

に―（法政大学国際日本学研究センター）

日中の文化関係を考える（その二）―文化摩擦（ずれ）

から文化交流（相互理解）へー（法政大学国際日本学研究所 法政大学国際日本学シンポジウム報告書）

日本茶の自然誌 ヤマチャのルーツを探る（愛知大学総合郷土研究所）

版画と写真ー一九世紀後半 出来事とイメージの創出ー

（神奈川大学二世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議）

東アジア共生モデルの構築と異文化研究ー文化交流とナ

シヨナリズムの交錯ー（二世紀COE国際日本学研究叢書三）（法政大学国際日本学研究センター）

非文字資料研究（神奈川大学二世紀COEプログラム

「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議 第一一号

非文字資料とはなにかー人類文化の記憶と記録ー（神奈川大学二世紀COEプログラム「人類文化研究のための

非文字資料の体系化」研究推進会議）
ふるさとに住む（愛知大学総合郷土研究所シンポジウム報告集）（愛知大学総合郷土研究所）

豊後国国東郷二（国東半島荘園村落遺跡詳細分布調査概報）

（大分県立歴史博物館）

米軍資料から見た浜松空襲（愛知大学総合郷土研究所）

ポスト・ソヴィエト期（一九九一ー二〇〇四）のロシアにおける日本研究（法政大学国際日本学研究センター）

ぼっかさんの平成大修理ー重要文化財願泉寺附築地堀解体の成果ー（平成一七年度貝塚市郷土資料展示室特別展

図録）（貝塚市教育委員会）

室町幕府足利義教「御前沙汰」の研究（神奈川大学二世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料

の体系化」研究推進会議）

山梨県立博物館ガイドブック（山梨県立博物館）

山梨県立博物館常設展示案内（山梨県立博物館）

よみがえる武田信玄の世界（山梨県立博物館）

和歌山平野における荘園遺跡の復元研究ー中世日前宮領の研究ー（平成一五ー一七年度科学研究費補助金研究成果

報告書）

「和菓子で楽しむ道中日記」展（第166回虎屋文庫資料展）（虎屋文庫）